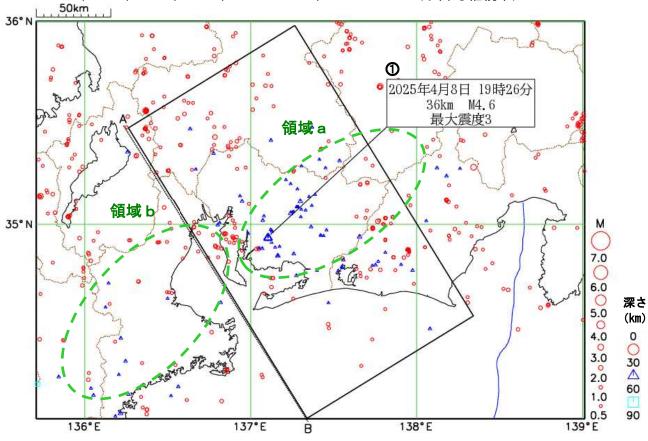
愛知県地震概況 令和7年(2025年)4月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

〇概況

- 1. 愛知県内で震度1以上を観測した地震の状況 4月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は3回発生しました。
- 2. 愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震
 - ① 08 日 19 時 26 分愛知県西部で M4.6 の地震(最大震度3 深さ36km)が発生しました。
- 3. 深部低周波地震の活動状況
 - 東海(領域 a) 9日~11日、16日~17日
 - ·紀伊半島北部(領域 b)

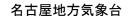
3日、6日、13日、17日、19日~20日、27日~30日(以降も継続中)

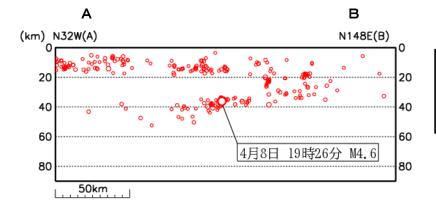


震央分布図(2025年4月1日~30日 深さ0~90km M≥0.5)

()深部低周波地震(微動)

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。 (注) Mはマグニチュード(地震の規模)の略です。





左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A-Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

〇県内で震度1以上を観測した地震

愛知県西部(1頁目震央分布図①)

4月6日19時26分に愛知県西部で発生したM4.6の地震(深さ36km)により、豊田市、東海市、大府市、知多市、東郷町、阿久比町、愛西市、みよし市で震度3を、山梨県、長野県、東海地方、北陸地方、近畿地方で震度2~1を観測しました。(図1)この地震は、フィリピン海プレート内で発生しました。愛知県では、令和6年(2024年)10月21日に発生した岐阜県美濃中西部の地震(深さ:17km M3.8)により、一宮市で震度3を観測して以来となります。

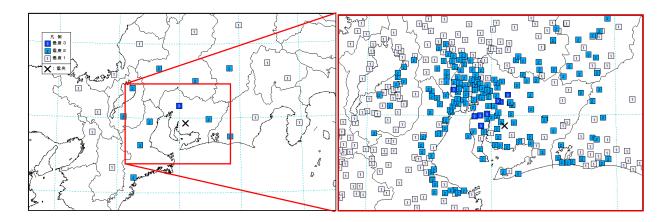


図1 4月8日19時26分 M4.6 震度分布図 (左図:地域別 右図:観測点別、×:震央)

長野県北部(1頁目震央分布図範囲外)

4月18日20時19分の長野県北部で発生したM5.1の地震(深さ13km)及び23時39分の長野県北部で発生したM4.5の地震(深さ13km)で、愛知県内でそれぞれ震度を観測しました。

20 時 19 分の地震(図2)では、長野県で震度5弱を観測したほか、関東甲信越、北陸、東海地方で震度4~1を観測しました。愛知県では、新城市、豊根村、豊田市で震度2を、その他の地域で震度1を観測しました。

23 時 39 分の地震(図3)では、長野県で震度4を観測したほか、長野県、新潟県、栃木県、岐阜県、 静岡県、愛知県で震度3~1を観測しました。愛知県では、新城市で震度1を観測しました。

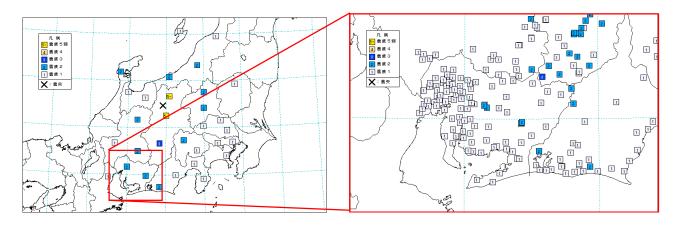


図2 4月18日20時19分 M5.1 震度分布図 (左図:地域別 右図:観測点別、×:震央)

長野県北部(1頁目震央分布図範囲外)

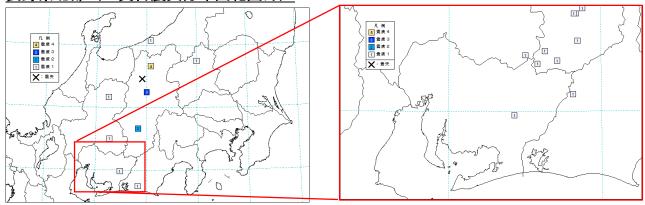


図3 4月18日23時39分 M4.5 震度分布図 (左図:地域別 右図:観測点別、×:震央)

〇震度1以上を観測した地震の表(愛知県)

震源時(年月日時分) 震央地名 緯度 経度 深さ マグニチュード

各地の震度

2025年04月08日19時26分 愛知県西部 34°55.9'N 137°06.2'E 36km M4.6

愛知県 震度 3: 豊田市保見町*,東海市加木屋町*,大府市中央町*,知多市緑町*,東郷町春木*,阿久比町卯坂*,

愛西市石田町*,愛知みよし市三好町*

震度 2: 豊橋市向山, 豊川市赤坂町*, 豊川市御津町*, 蒲郡市御幸町*, 新城市作手清岳, 新城市作手高里松風呂*, 新城市作手高里縄手上*, 新城市東入船*, 豊根村下黒川*, 田原市福江町, 田原市赤羽根町*, 名古屋千種区日和町, 名古屋東区筒井*, 名古屋北区萩野通*, 名古屋西区八筋町*, 名古屋中村区大宮町*, 名古屋中区県庁*, 名古屋昭和区阿由知通*, 名古屋瑞穂区塩入町*, 名古屋熱田区一番*,

名古屋港区金城ふ頭*,名古屋港区善進本町*,名古屋守山区下志段味*,名古屋守山区西新*,名古屋緑区有松町*,名古屋名東区名東本町*,名古屋天白区島田*,岡崎市若宮町,一宮市千秋,一宮市西五城*,一宮市木曽川町*,瀬戸市追分町*,半田市東洋町*,愛知津島市埋田町*.

刈谷市寿町*,豊田市小坂本町,豊田市大洞町,豊田市小坂町*,豊田市藤岡飯野町*,豊田市大沼町*,豊田市駒場町*,豊田市畝部西町*,豊田市長興寺*,豊田市足助町*,豊田市小原町*,豊田市小渡町*,安城市和泉町*,安城市横山町*,西尾市一色町,西尾市西幡豆町*,西尾市吉良町*,西尾市矢曽根町*,中部国際空港,常滑市飛香台,小牧市安田町*,稲沢市平和町*,稲沢市稲府町*,稲沢市祖父江町*,

知立市弘法*,尾張旭市東大道町*,岩倉市川井町*,豊明市沓掛町*,日進市蟹甲町*,蟹江町蟹江本町*, 飛島村竹之郷*,東浦町緒川*,南知多町豊浜,愛知美浜町河和*,愛西市稲葉町,愛西市江西町*,

愛西市諏訪町*,清須市春日振形*,清須市西枇杷島町住吉*,清須市清洲*,北名古屋市井瀬木*,

弥富市神戸*,弥富市前ヶ須町*,あま市七宝町*,あま市木田*,長久手市岩作城の内*

震度 1: 豊橋市東松山町*,豊川市小坂井町*,豊川市一宮町*,蒲郡市水竹町*,新城市乗本,新城市大野*, 新城市長篠*,設楽町津具*,設楽町田口*,田原市石神町,田原市古田町*,名古屋中区市役所*, 名古屋中川区東春田*,名古屋港区春田野*,春日井市鳥居松町*,碧南市松本町*,豊田市稲武町*, 犬山市五郎丸*,愛知江南市赤童子町*,豊山町豊場*,大口町下小口*,扶桑町高雄*,大治町馬島*, 武豊町長尾山*,幸田町菱池*,清須市須ケロ*

2025年04月18日20時19分

長野県北部

36° 28.1' N 137° 54.8' E 13km

M5. 1

愛知県 震度 2:新城市作手高里松風呂*,新城市作手高里縄手上*,豊根村富山*,豊田市小坂町*,豊田市長興寺*

震度 1: 豊橋市向山,豊橋市東松山町*,豊川市赤坂町*,豊川市小坂井町*,豊川市一宮町*,豊川市御津町*,

蒲郡市御幸町*,蒲郡市水竹町*,新城市作手清岳,新城市大野*,新城市東入船*,設楽町津具*, 設楽町田口*,豊根村下黒川*,田原市福江町,田原市田原町*,田原市赤羽根町*,名古屋千種区日和町,

名古屋東区筒井*,名古屋北区萩野通*,名古屋西区八筋町*,名古屋中村区大宮町*,名古屋中区県庁*, 名古屋昭和区阿由知通*,名古屋瑞穂区塩入町*,名古屋熱田区一番*,名古屋中川区東春田*,

名古屋港区金城ふ頭*,名古屋港区春田野*,名古屋港区善進本町*,名古屋守山区下志段味*,

名古屋守山区西新*,名古屋緑区有松町*,名古屋名東区名東本町*,名古屋天白区島田*,岡崎市若宮町,

一宮市千秋、瀬戸市追分町*,半田市東洋町*,春日井市鳥居松町*,碧南市松本町*,刈谷市寿町*,豊田市小坂本町、豊田市大洞町、豊田市藤岡飯野町*,豊田市大沼町*,豊田市坂上町*,豊田市足助町*,

曼田市小阪本町,豊田市大河町,豊田市藤岡販野町 * , 豊田市大沼町 * , 豊田市坂上町 * , 豊田市足助町 * 豊田市稲武町 * , 豊田市小原町 * , 豊田市小渡町 * , 安城市和泉町 * , 安城市横山町 * , 西尾市一色町,

西尾市西幡豆町*,西尾市吉良町*,西尾市矢曽根町*,常滑市飛香台,小牧市安田町*,稲沢市平和町*,

稲沢市稲府町*,東海市加木屋町*,大府市中央町*,知立市弘法*,尾張旭市東大道町*,

高浜市稗田町*,岩倉市川井町*,豊明市沓掛町*,日進市蟹甲町*,東郷町春木*,豊山町豊場*,

蟹江町蟹江本町*,飛島村竹之郷*,阿久比町卯坂*,東浦町緒川*,武豊町長尾山*,幸田町菱池*,愛西市石田町*,愛西市諏訪町*,清須市春日振形*,清須市西枇杷島町住吉*,清須市清洲*,

北名古屋市西之保*、北名古屋市井瀬木*、弥富市神戸*、弥富市前ヶ須町*、愛知みよし市三好町*、

あま市七宝町*,あま市木田*,長久手市岩作城の内*

2025年04月18日23時39分 長野県北部

36° 27.7' N 137° 54.5' E 13km

M4.5

愛知県 震度 1:新城市作手高里松風呂*

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

[※]本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線) 』 を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

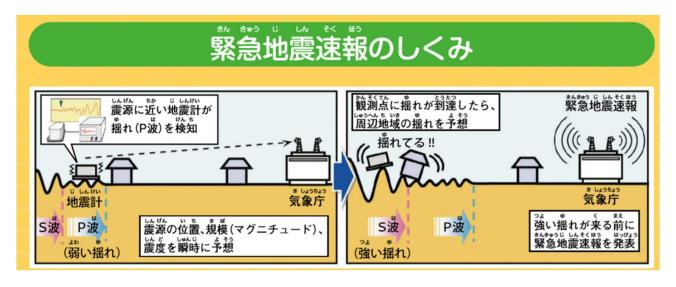
[※]地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

^{※2020} 年9月以降に発生した地震を含む図については、2020 年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

緊急地震速報について

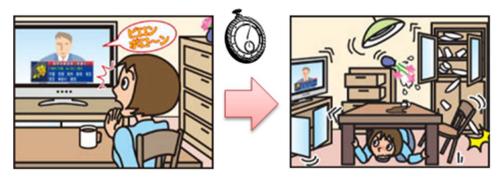
緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます(地震波)。地震波には P 波(Primary「最初の」の頭文字)と S 波(Secondary「二番目の」の頭文字)があり、 P 波の方が S 波より速く伝わる性質があります。一方、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくる S 波です。このため、地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わる P 波を検知した段階で S 波が伝わってくる前に危険が迫っていることを知らせることが可能になります。



緊急地震速報は、地震が発生してから、その揺れを検知し、解析して発表する情報です。

一般に、緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数 十秒程度と極めて短く、場合によっては緊急地震速報が強い揺れの到達に間に合わないことが あります。



強い揺れまでの時間はわずかしかありません まわりの人に声をかけながら あわてず、まず身を守りましょう!!

(参考)政府インターネットテレビ:緊急地震速報~その時どう動く?「数秒間の心がまえ」 https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24210.html